

履歴書

2012 年 11 月 12 日現在



ふりがな		おがわ きょうこ	
氏 名			
小川 恭子			
出身地		年齢	※
大阪市		(30 代)	男 ・ 女
参加した NICE ボランティア		分野	
国際ワークキャンプ、週末ワークキャンプ		開発、農業、環境、文化、教育、福祉	
場所 (国・市町村まで記入)	メキシコ、フィジー、イギリス、熊本県水俣市、東京都渋谷区、千葉県野栄町		満足度
受け入れ団体	NICE、VIVE、UNA		90%
			活動のやりがい度
			75%

こんなボランティアでした
海外では、メキシコやフィジー、イギリスで農業や植林、文化施設の修繕などを行いました。日本では、キャンプリーダーとして国際ワークキャンプや週末ワークキャンプの運営にかかわりました。

年齢	経歴
18 歳	東京都内の大学に入学
19 歳	メキシコの国際ワークキャンプに初参加
	熊本県水俣市の国際ワークキャンプに参加
20 歳	東京都渋谷区の国際ワークキャンプでキャンプリーダーを務める
	千葉県野栄町や長野県飯田市などの週末ワークキャンプに参加
21 歳	千葉県野栄町の国際ワークキャンプでキャンプリーダーを務める
22 歳	フィジー、イギリスの国際ワークキャンプに参加
23 歳	大学卒業後、外務省に入る
30 歳	5 年間の海外勤務を経て日本に帰国
趣味・特技	旅行
座右の銘	日進月歩
参加までの旅行経験・ボランティア経験	
海外旅行、高校時代にアメリカへ交換留学	

記入上の注意 1：鉛筆以外の黒または青の筆記具で記入。2：数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に書く。
3：※印のところは、該当するものを○で囲む。

志望動機

学生時代、長期で海外を旅したいけれど、観光地をただ回るだけではなく、何かプラスαの経験がしたいと思っていました。国際ワークキャンプは、普通の旅行ではなかなか行けない場所で長期滞在でき、地元の人々と交流しながら何か役に立つことができそうところが魅力だと感じ、参加を決めました。

行くまでに心配だったこと（どう乗り越えたか）

初めてのワークキャンプがメキシコで、集合場所が首都のメキシコシティから車で数時間の所だったので、無事たどり着けるかや、治安や語学などが心配でした。事前にネット掲示板などで行き先の治安状況や移動手段の情報収集をし、十分な準備をしておきました。

家族・友人・学校・職場の反応（私はこうやって説得した！）

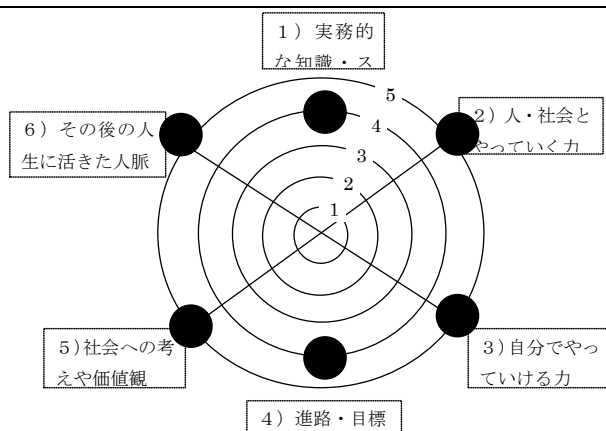
両親は、国際ワークキャンプに参加すること自体はいい経験だと賛成してくれましたが、途上国へ一人で旅行することについては心配しました。最終的には私の意思を尊重してくれました。

ワークキャンプとその後の人生（進路決定、参加経験が役立っていること等）

もともと国際的な仕事に関心がありましたが、ワークキャンプに参加することでその思いが強まりました。様々な国籍の参加者と数週間共同生活し、時には喧嘩もしながら協力してボランティア活動を行ったことは、国際的な視点を身につける上でとてもよい経験になりました。また、特に、国内のワークキャンプの参加経験がその後の自分の考え方や価値観に影響を与えていると感じます。私はそれまで出身地である大阪以外の地方にはほとんど行ったことがなかったのですが、ワークキャンプを通じて多くの地方を訪れ、地元の人たちと交流し、日本の良さを見、知ることができました。そういう中で、自分は日本の良さを世界の人々に知ってもらうことを助ける仕事に就きたいと思うようになりました。

成長ダイアグラム ※

これから参加を考えている人へ、熱いメッセージを♪



ワークキャンプに興味を持ったら迷わず参加してみてください。きっと世界が広がります！

※成長ダイアグラム（5＝とても得るものがあつた・良くなった。4＝まあまあ得るものがあつた・良くなった。3＝前と変わらなかった。影響なし。2＝前よりもやや劣るようになった・悪くなった。1＝前よりもずっと劣るようになった・悪くなった。）